

「平成20年度学生支援プロジェクト事業」採択一覧

NO.	プロジェクト名	目的・概要	代表者の所属学部等	構成員(人)	配分額(円)
1	みんなで楽しむ音楽鑑賞会 「第2回わくわくコンサート」	(1)一般の音楽会に参加することができにくい児童(特別支援学校等も含む)と保護者、サポートの必要な方等を対象とした音楽鑑賞会(「第2回わくわくコンサート」)を運営し、音楽鑑賞の機会を提供する。 (2)運営に関しては、香川大学の学部を越えた連携を行うとともに、サークル、卒業生・修生、教員、地域の方々の協力も得ながら行う事業である。地域社会と大学の人的な交流の場という性格も併せ持つ。 (3)この事業は、昨年度、市民から好評を博した「第1回わくわくコンサート」をさらに改善し、継続的に実施することを目的とする。	教育	31 外	730,000
2	理科実験・ものづくり教育支援活動	・青少年の理科・ものづくりへの興味の増進 ・体験学習を通じた科学技術の支援	工	9	672,000
3	子どもまつり	大学祭に訪れた子どもたちに遊ぶ空間と時間を提供する。 巨大すべり台。巨大迷路・クラフトアート・ゲーム・幼児向けなどのコーナーを設置し、子どもたちと交流する。	教育	54	95,000
4	より安全な清掃活動をめざして!!	大学周辺の美化、地域への貢献、地域の方や学生との交流、学生・地域の方の意識改革を目的とする。毎週火曜日、朝7:30~8:30に大学周辺の歩道の清掃を行う。定期的な大掃除も行う。集まった枯葉を腐葉土にして無料配布する。	教育	6	112,000
5	疾患を持つ子ども達への夢チャレンジサポートプロジェクト	疾患を持つ子ども達が入院中でも退院しても疾患と上手く付き合いつながり、今そして将来に対して夢を持てるようにサポートする。	医	21	208,000
6	北アルプス三俣診療所における学生医療ボランティア活動の清潔・不潔の徹底による医療の向上。	北アルプスの三俣診療所において、医療機器の滅菌を厳密に行うことにより登山者に対する医療を確実にする。	医	18	199,500
7	学生主催の救急蘇生講習会 BLS&ICLS~香川大学から地域市民へ~	救命蘇生のトレーニングコースである「BLS」および「ICLS」を学生が自主性をもって広める。特に「BLS」は一般市民向けに行い、一般市民で救命処置を行える方を一人でも多くし、香川県の救命率向上に貢献する	医	24	200,000
8	超高齢社会への準備 ~特別養護老人ホームへの福祉ボランティア~	今まで各人が身につけてきたボランティア活動や社会福祉に関する知識を、養護老人ホームでのボランティアで役立て、さらに理解を深める。	法	12	72,000
9	“豊かな島”豊島を再発見!観光資源マップ作り ~続 エコ・ツーリズムによる豊島の地域活性化プロジェクト~	豊島の活性化と、自分たちが卒業後、地域活性化を担う人間となるために、豊島の年中行事に参加・協力し、住民と交流しながらの観光マップ作り。(昨年度は調査中心、今年度は実践)	経済	6	230,000
10	エコ学祭	環境に配慮した学園祭を行うことを目的とする。香川大学学園祭にて間伐材わりばしの利用、ゴミの分別の徹底、リサイクルの促進を行う。	教育	17	140,000
11	第5回香川大学工学部祭	香川大学工学部の学生が日頃行っている勉強や研究の成果をいかして、催し物を行うことで来場者に工学部をより深く知っていただく場を提供することを目的としている。	工学研究科	8	320,000
12	学生による学生のためのWeb広報システム	我々は去年学生による Q&A システムを構築した。このシステムを基盤とし、学生同士が自由に広報を行なう Web 広報システムを作成する。本システムを用いることで、最新の学生生活のイベント情報を知ることができる。	工学研究科	6	500,000
13	学生企画イベント「きょうから音読名人!」(仮称)	県下の小・中学校で盛んに取り組まれている音読の発表の場を提供すると共に、キャリア支援教育の一環として、中学生と一緒に学生がイベントを企画・運営することにより、将来教員を目指す学生に必要な資質を身に付ける。	教育	6	223,000
14	第60回香川大学祭	香川大学(幸町キャンパス)内において大学祭を開催し、香川大学と周辺地域との交流を深め、また双方の活性化を図る。	経済	7	500,000
15	第3次香川県・探検・発見・ほっとけん及びHOT県隊 ESD副読本作成プロジェクト	・教材開発が愁眉の課題といわれ、授業実践が待たれるESD(持続可能な開発のための教育)教材の開発に取り組む。 ・地域の教育現場で実践可能な教材を副読本の形で提供することにより、地域に貢献する。 ・昨年度、一昨年度に作成した副読本の教育現場での有効活用を図る(副読本を使用して授業を行う)。 ・平成大合併後、郷土愛の育成が求められ、その有力な手立てとして副読本がある。副読本を作成し、将来香川県を担っていく子どもたちに香川の良さを気付かせ、ふるさとを大切に思う心を育てる。 ・大学院生らが現場に出たときに、地域教材を開発する力を身につける。	教育学研究科	8	470,000
16	第29回香川大学医学部祭	香川大学医学部学生の学習研究、サークル活動や自主的な課外活動の成果を発表し、学生間や地域住民との交流を促進する。	医	47	400,000
17	地域密着型宇宙開発プロジェクト	昨年同様、アマチュア無線で運用する地上局で体験イベントを実施することにより、地域の方々に宇宙開発の一端でも触れてもらう。それにより、我々の活動を理解してもらい、地域の方々とより親密な友好・信頼関係を築くことを目的としている。また、教育的観点から地域的理科教育の隆盛寄与への期待も出来る。	工	11	213,000
18	四カル・プロジェクト(カルスト・ローカル・カルチャー・エコロジカル)四国カルストでローカル・カルチャー&エコツーリズムのマップ作り・イベントの実施	観光交流客増大による地域活性化とツーリズム教育の実践のために、四国カルストでのマップ作りとエコツーリズムイベントの実施及び、そのための調査	経済	7	203,000
19	手品を通して広めよう!人の輪、そして地域の輪	手品を通して老若男女を問わず、様々な地域の人々と交流し地域の活性化を図る。	教育	34	132,000
20	讃岐の丘から国際医療の発信と共有を ~発展途上国に対する医療について考える~	・国際医療に関わりたいと考えている学生が、将来自分との関わり方についてビジョンを持ち、そのための知識を習得するワークショップの開催。 ・学生だけでなく、地域の人にも国際医療についての重要性を発信し、関われるきっかけを作るイベントの開催。	医	6	180,000

応募プロジェクトの合計	28件
採択したプロジェクト	20件
採択されなかったプロジェクト	8件